≪基本理念≫医学への精進と貢献、病者への献身と奉仕を旨とし、その時代時代になしうる最良の医療を提供すること

2018. 11～12
TORANOMON
VOL. 167

とらのもん

URL：http://www.toranomon.gr.jp

本　院
公開講座

『 婦人科がん治療の最前線
～妊孕性温存治療から進行がんの治療まで～』
日時：２０１８年11月3日（土）１４：００～１５：３０
場所：本院　本館３階　講堂（入場無料）開場１３：００
講師：産婦人科　部長　　有本　貴英

本　院
公開講座

日時：２０１９年1月19日（土）１４：００～１５：３０
場所：本院　本館３階　講堂（入場無料）開場１３：００
講師：消化器外科　部長　　上野　正紀

お知らせ

上記の公開講座は、諸般の事情により、変更・延期・中止になることがございます。お電話・ホームページ等で開催の有無をご確認ください。

外来の予約内容の確認が当院のホームページから出来ます。
何かご不明な点がございましたら、予約センターまでお願いします。

【本院　中央採血室からのお知らせ】
現在、中央採血室がたいへん混雑して御迷惑をおかけしております。
午後の２時以降が比較的空いています。主治医とご相談の上、可能な場合は午後の採血をお勧めいたします。

今月の特集

●本院　公開講座
『婦人科がん治療の最前線
～妊孕性温存治療から進行がんの治療まで～』
●連携医療機関のご紹介
～神楽坂内科・脳神経内科クリニック～
～大井町レディースクリニック～
●市民公開講座（生涯元気に歩こう！）
●中瀬浩史 先生（元神経内科部長）より
●新病院建設状況について
●インフルエンザについて

『　いちょう　』

国家公務員共済組合連合会
虎の門病院
TORANOMON HOSPITAL

【虎の門病院 本院】
☎03-3588-1111（代）

【虎の門病院 分院】
☎044-877-5111（代）

【さいたま診療所】
☎048-601-1347

11月3日開催　本院公開講座

婦人科がん治療の最前線

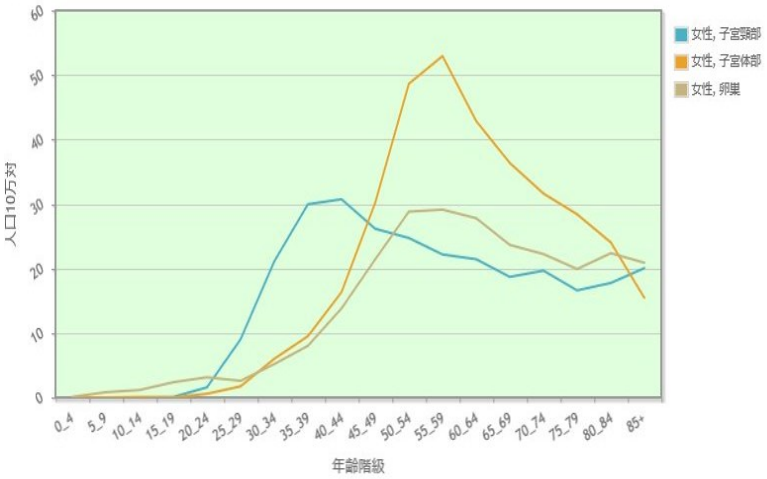
～妊孕性温存治療から進行がんの治療まで～

産婦人科　部長　有本　貴英

1. 婦人科で診るがんとは？

女性特有のがんには乳がん、子宮がん、卵巣がん、卵管がん、外陰がん、膣がんなどがありますが、これらのうち一般的には乳がん以外を婦人科で治療します。婦人科のがんで頻度が高いのは子宮がんと卵巣がんで、子宮がんは赤ちゃんを妊娠する部分である子宮体部にできる子宮体がんと、胎児を支える部分である子宮頸部にできる子宮頸がんに分けられます。罹患数は子宮頸がんが年間約10,000人、子宮体がんが約14,000人、卵巣がんが約10,000人で、特に子宮体がんは近年増加しています。卵管がんと腹膜がんは比較的頻度の少ないがんですが、発生母地が卵巣がんと同じミュラー管上皮由来であること、がんの進展の仕方や有効な抗がん剤の種類・効果が卵巣がんとほぼ同等であることから、卵巣がんに準じて扱われます。子宮頸がんの好発年齢は30歳代～40歳代で比較的若い人に多いのに対し、子宮体がんと卵巣がんの好発年齢は50歳代～60歳代で中高年に多いがんとなっています（図1）。

図1. 子宮頸がん、子宮体がん、卵巣がんの年齢別罹患率
（国立がん研究センターがん対策情報センター　https://ganjoho.jp）



産婦人科 部長

有本　貴英　平成10年卒

＜専門分野＞
婦人科腫瘍
（悪性腫瘍の手術・化学療法）

＜資格・所属学会等＞
- 日本産科婦人科学会 産婦人科専門医・指導医
- 日本婦人科腫瘍学会 婦人科腫瘍専門医・指導医、代議員
- 日本がん治療認定医機構　がん治療認定医
- JCOG（日本臨床腫瘍研究グループ）婦人科腫瘍グループ代表委員

2. がん治療の基本は、病変を十分に切除すること

再発を防ぐために、ギリギリではなく可能な限り十分な余裕をもってがんを取り除くのががんの治療の基本です。婦人科のがんでも、十分な切除ができると見込まれる場合は手術療法が第一選択の治療となり、そうでない場合はがんの種類に応じ、放射線療法や化学療法（抗がん剤）が主治療となります。

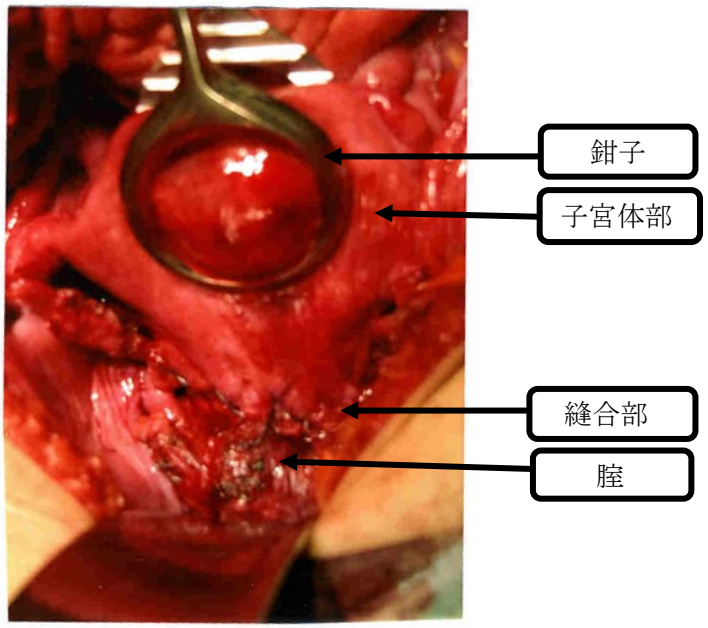
現在の医学では、子宮頸がんの標準治療（最も優れていると考えられる治療）は初期がんの場合がんから余裕を持って病変を切除する子宮全摘術、進行がんやがんが大きい場合は同時化学放射線療法とされています。一方子宮体がんの場合は進行期を問わず、子宮全摘と卵巣摘出を含む手術で病変を取り除くことが必要です。卵巣がんも手術が基本ですが、卵巣がんはお腹の中全体に病変が広がってから見つかることも多く、また抗がん剤が比較的よく効くことが多いため、手術で取り切れないと判断された場合には先に化学療法を行い、がんが縮小した後に手術を行うこともあります。いずれのがんでも、がんが全身に転移している場合には、全身療法である化学療法が行われます。

3. 初期がんに対する子宮・卵巣の温存療法
（妊孕性[にんようせい]温存治療）

晩婚化や不妊治療技術の進歩により、出産年齢は近年上昇してきており、高齢出産と呼ばれる30歳代後半や40歳代前半の出産も珍しくなくなっています。一方、図1に示した通り、子宮頸がんの好発年齢は30歳代～40歳代であり、子宮体がんや卵巣がんでも30歳代～40歳代で発病する方は珍しくはありません。がんの治る確率を下げずに、子宮や卵巣を温存し、妊娠できる能力を残す（妊孕性温存）治療が必要とされています。

このような妊孕性温存治療として、従来なら子宮・卵巣の摘出が必要であった場合でも、がんの治る確率が下がらないと考えられる初期のがんに対しては、子宮頸がんでは子宮頸部とリンパ節のみを切除して、子宮体部と卵巣を残す広汎子宮頸部摘出術（図2）、子宮体がんでは薬で病変を消失させるホルモン療法、卵巣がんではがんがある側のみの卵巣・卵管を切除し、反対の卵巣と子宮を残す縮小手術が試みられています。

図2. 広汎子宮頸部摘出術後の子宮



4. 初期がんに対する低侵襲
（体の負担の少ない）治療

婦人科がんの手術は開腹手術が基本ではありますが、より創が小さく体の負担の少ない方法として、2014年より子宮体がんに対する腹腔鏡手術が保険適応となりました。下腹部を十数cm切開が必要となる開腹手術と比べ、腹腔鏡手術は腹部に4～5箇所 1cm以下の穴を開けるのみで可能です。今のところ適応はごく初期（IA期）でがんの悪性度が低いと考えられる（組織型が高分化型あるいは中分化型の類内膜癌）場合に限られていますが、美容面や術後の痛み、入院期間などの点で優れており、当院でもご希望のある方には積極的に行っております。

一方、初期子宮頸がんに対しても本年4月より腹腔鏡手術が保険適応となりましたが、開腹手術と低侵襲手術（腹腔鏡手術・ロボット手術）を比較した米国の臨床試験では低侵襲手術の方が再発率が高かったとも報告されており、子宮頸がんに対する腹腔鏡手術の有効性は確立しているとは言えません。より治る確率が高く、かつ低侵襲である治療法の確立を目指して、現在も日々努力を行っています。

～詳しくは公開講座へ～

虎の門病院 本院公開講座

日時：11月3日（土）14時～15時30分
場所：虎の門病院本院　本館3階講堂

****

虎の門病院では定期的に一般の方向けの公開講座を開催しています。

どなたでも（虎の門病院を受診していない方でも）ご参加いただけます。

講師は虎の門病院所属の医師が担当し、講演後には質問もお受けいたします。

申し込み不要・入場無料、
皆さまのご参加をお待ちしております。

虎の門病院　公開講座　検索

****

公開講座はDVD化しています。

DVDは本館8階にある患者図書室で入院患者さんを対象に1泊2日でレンタルしています。外来患者さんは、図書室内でご覧になることができます。（イヤホンをご持参ください）。

また、当院のホームページに、過去の公開講座の動画の一部を掲載しております。

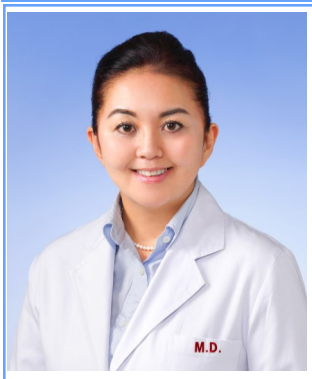
〈連携医療機関のご紹介〉

神楽坂内科・脳神経内科クリニック

Kagurazaka Clinic Internal Medicine &Neurology

院長 ご挨拶

敷居が高く感じられがちな神経内科の医療を身近なものにすると共に、内科全領域の適切なプライマリーケアをご提供したいと考え2018年4月に神楽坂に開院いたしました。脳卒中・認知症などの予防に積極的に取り組んでおり、生活習慣病の予防や治療、睡眠時無呼吸症候群の診断や治療、禁煙外来など脳心疾患の危険因子のガイドラインに基づいた指導や治療に力を入れています。頭痛外来においては、適切な臨床診断が有効な治療の鍵ですので、頭部MRI・MRAなどの正確な画像診断および循環器領域や自己免疫疾患などの他領域の基礎疾患にも視野を広く持ち、危険な頭痛の見逃しを防ぎ、正確な診断の後に適切な治療を行うことで、辛い頭痛のお悩みを解消するよう心掛けております。企業の産業医経験から、プライマリーケアを得意にしておりますので、神経内科だけでなく、皆様のかかりつけ医として風邪などの一般診療もお気軽に受診ください。



●ドクター紹介

院長　坂本　智子
（さかもと　ともこ）
TOMOKO SAKAMOTO M.D.

＜資格＞
総合内科専門医
日本神経学会神経内科専門医
日本抗加齢医学会専門医
日本医師会認定産業医
労働衛生コンサルタント

＜経歴＞
北里大学医学部卒業
東京医科歯科大学医学部付属病院神経内科、北里大学神経内科University of Connecticut Health Center、富士通株式会社健康推進統括部を経て、大手企業顧問・産業医を務め、都内クリニック院長を経て2018年4月神楽坂内科・脳神経内科クリニック開院。

【診療科目】
内科・脳神経内科（神経内科）・慢性頭痛
生活習慣病（高血圧、脂質異常症、糖尿病など）
睡眠時無呼吸外来・禁煙外来

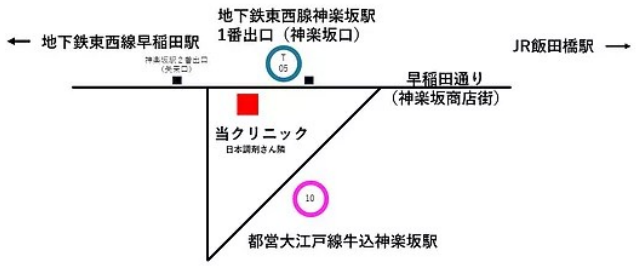
【ご予約案内】
お電話にて受け付けています。
ご予約なしでの来院も可能です。
メールでのご予約は受け付けておりません。

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
9：30～13：00	○	○	○	○	○	×	×
14：00～17：30	○	○	○	○	○	×	×

最終受付　午前12：30　午後17：00
※ご予約優先。予約なしでもお気軽にご受診ください。

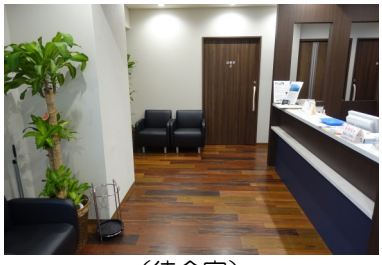
【休診日】土曜日、日曜日、祝日

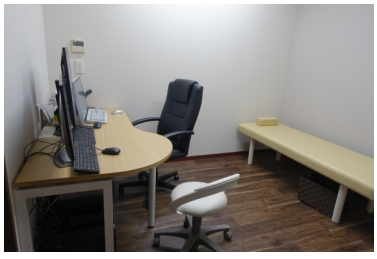
【アクセス】
東京メトロ東西線　神楽坂駅徒歩３０秒（１番出口）
都営地下鉄大江戸線　牛込神楽坂駅徒歩６分
JR飯田橋駅徒歩９分



【院内写真】

（受付）


（待合室）


（診察室）

（心電図）

神楽坂内科・脳神経内科クリニック
■〒162-0825　東京都新宿区神楽坂6-42
神楽坂喜多川ビル１階
■電話　03-6280-7582（なごやかに）
■URL　https://kagurazakanaika.wixsite.com/kagurazakaclinic

〈連携医療機関のご紹介〉

大井町レディースクリニック

院長 ご挨拶

女性は年齢を重ねるにつれて、それぞれの年代でよくみられる症状があるものです。思春期の月経に関連した症状から始まり、妊娠、出産、更年期とかなり長い年月のあいだ様々な問題に悩み続けることもあります。当クリニックは皆さまに安心して受診いただけるように、女性医師と女性スタッフが全てのライフステージの女性をトータルでサポートしていきます。あなたのライフスタイルや考え方にあわせて最善の方法をみつけていきましょう。受診したほうがいいのか分からない、どこにかかっていいのか分からない、そんな時はまずはご相談ください。いつでも安心して気軽に相談できるかかりつけ医として皆さまとつながっていきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

●ドクター紹介

院長　佐久川　直子

（さくがわ　なおこ）

＜資格＞

日本産科婦人科学会専門医

＜経歴＞

【平成１５年】旭川医科大学医学部卒業

旭川医科大学附属病院 産婦人科

【平成２１年】虎の門病院

【平成２５年】聖ローザクリニック

【平成３０年】大井町レディースクリニック

【診療科目】

婦人科・女性内科

予約優先制

ご予約・お問い合わせはこちら

03-6421-6680

診療時間	月	火	水	木	金	土
9：30～12：30	●	●	●	◉	●	◉
14：30～17：30	●	●	●		●	

◉ 木曜日・土曜日は午前中のみの診療となります。
診療時間は9：30～13：30です。

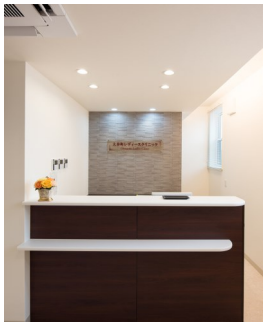
【休診日】日曜・祝日

【アクセス】

ＪＲ京浜東北線大井町駅

東急大井町線大井町駅よりいずれも徒歩6分

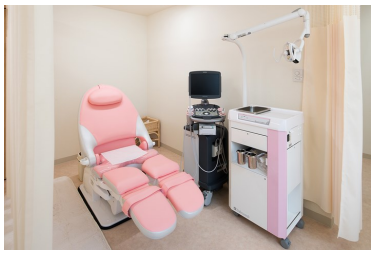
【院内写真】



（受付）

（待合室）

（診察室①）



（診察室②）

大井町レディースクリニック

■〒140-0014 東京都品川区大井2-1-1
大井2丁目メディカルセンター3階

■電話　03-6421-6680

■URL　https://www.oimachi-ladies-clinic.com

知ることから始まる 市民公開講座

生涯元気に歩こう!

講師 **虎の門病院**

整形外科 福島（ふくしま） 成欣（まさよし） 先生

～腰痛治療の最前線～

脳神経外科部長 原（はら） 貴行（たかゆき） 先生

～脳卒中予防のための外科手術～

福島　成欣 先生

原　貴行 先生

日時 2018年11月24日（土）
13：30開場 14：00開演

定員 150名（事前のお申込みが必要です）

参加費 無料 事前のお申し込みが必要です。

会場

TKP品川カンファレンスセンター
（JR品川駅 隣）
6階　バンケットホール6G

〒108-0074　東京都港区高輪3-2-33
京急第10ビル

■ お申し込み

ハガキ：〒105-8470 港区虎ノ門2-2-2 虎の門病院
医療連携部 診療情報サービス室

ＴＥＬ：03-3560-7823（土・日、祝日を除く 9:00～17:00）

ＦＡＸ：03-3560-7878

メール：renkei@toranomon.gr.jp

ハガキ、電話、FAX、メールにてお申し込みください。

※車イスの方がおられる場合はその旨お知らせください。

＊参加券の発行など、参加登録完了のご返信は致しませんので、当日直接会場にお越しください。

＊定員になり次第締め切ります。

＊個人情報は、本講座以外の目的では使用しません。

アクセス

●JR山手線 品川駅 高輪口 徒歩1分
●JR京浜東北線 品川駅 高輪口 徒歩1分
●JR東海道本線 品川駅 高輪口 徒歩1分

ネット時代と医師の役割

虎の門病院 元神経内科部長
大森赤十字病院　院長　　中瀬　浩史

マスコミやネットから医療情報を得て受診される方が沢山いらっしゃいます。数年前まではそのような情報は的外れなことが多く、内容の勘違いを訂正することに時間がかかり、迷惑なことだと思っていました。それがここ数年で状況が変わってきています。

私の専門は神経内科で診断が複雑なことが多く、「歩きにくい」といった症状でもその原因は、脳・脊髄・末梢神経など様々な部位で起こります。中には神経難病と言われるまれな病気もあり患者さんには診断がつけられないことが前提でした。

ところがインターネットによる検索に習熟された方が「私は○○病ではないでしょうか？」といって受診されることが増え、正答率が格段に上昇しています。検索にはまず気になる症状をキーワードとして入力しスクリーニングをかけます。わからない医学用語は再度検索し出てきた病名で当てはまりそうなものをピックアップします。そしてその病気について確認されてから受診されているようです。

実は診察の前に行っている問診はこのような検索のプロセスとかなり類似したものです。キーワードの組み合わせから統計的に確率の高い疾患を想定して、その病気に多い症状があるかどうかを確認していきます。放置すると危険な疾患については頻度が少なくても念のため確認します。頻度と危険度が問診時に必要なパラメーターです。この段階での診断正答率は7～8割ですので、様々な検査を組み合わせてさらに確実さを高めていきます。

数年前までは普通のインターネット検索では十分な情報は得られず、医師が調べたいことは、まず医学論文の検索サイトでキーワード検索をかけ、疾患についての最新論文から情報を得るのが通常でした。ところが学会や官庁などから発信される情報量が増え、ガイドラインや疾病情報の提供が進むと医学論文に近いレベルの情報を一般の検索でも得られるようになりました。若いドクターに疑問点を問うと、すぐにスマホで通常の検索をして正解を答えてきます。

患者さんへの説明も徐々に変わり、わからない点はご自身やご家族が検索しやすいようにキーワードをお示しすることがあります。従来から医師と患者さんとの間に医学的な知識量の差が大きいことが、コミュニケーションをとる上で大きな障害になると考えられてきました。しかしその差はかなり少なくなってきたように感じられます。

患者さんのネット検索能力が向上しても時々医師として困ることがあります。個人的な体験談を情緒的に記載してかえって不安感をあおるサイトや、「安全安心」「確実に」「絶対に」「新発見」など生物学・医学ではほとんど用いない用語が含まれるサイトは敬遠した方が良いと思います。医学的な記載はほとんどが統計的な事実に関する記載です。商業サイトは営利目的に情報が偏ることもあり、個人の検索履歴が影響し繰り返し同じ様な情報にとらわれる事にも注意が必要です。

官公庁関連・医学教育用・学会関連のサイトはかなり信頼性が高いと思います。分野ごとに、比較的正しい情報を提供しているサイトがありますので、患者さんに見るべきサイトをお知らせすることもあります。薬の副作用に関しても薬についての公式文書（添付文書）を調べることをおすすめしています。添付文書を確認することで不必要な心配がなくなったという方もいらっしゃいます。

では医師からはどのようなことについて説明を受けるべきでしょうか。ネットから正しく知識を得られても、書かれていることは一般論が多く、個々の患者さんに当てはまるかどうかの説明が重要だと感じています。治療法に関しても治療ガイドラインをお読みになって相当詳しい知識のもとに決めてこられる方もいらっしゃいますが、その場合でもその選択肢が実は限定されていてその患者さんには当てはまらない場合もあり、治療法の説明には気を遣います。

ネットからの情報は玉石混淆ですので、わからないときは主治医の先生に率直にご相談なさるのが良いと思います。医師の側も当然のこととして対応すると思います。

2019年5月開院予定　新病院について

新病院　完成予想図

虎の門病院（本院）の建替えを含めた「虎ノ門二丁目地区再開発計画」が東京都により都市計画決定され、新病院竣工に向けて準備が進んでいます。
現在は、地上13階建てですが、新病院では地上19階建ての超高層病院となります。現在は新病院の外観が出来上がり、内装工事を行っているところです。
開院は2019年5月1日予定です。ご期待ください！

建築概要	新病院	現病院
延床面積	約86,000㎡	約60,000㎡
建築物の規模	地上19階、地下3階	本館：地上8階、地下2階 新館：地上13階、地下4階
建築物の高さ	約99m	約60m

「インフルエンザが流行する時期になりました」

インフルエンザにかからないために…
①流行前に予防接種を受けましょう。
②こまめに「手洗い」「うがい」をしましょう。

周りの人にうつさないために…
①咳やくしゃみをしているときはマスクを着用しましょう。
②体調が悪い時は早めに医療機関を受診し適切な治療を受けるようにしましょう。

面会される方にお願い
発熱や鼻水、喉の痛み、咳などの症状のある方は面会をお控えください。

感染対策チーム

人間ドックに関するお問い合わせ

虎の門病院付属　健康管理センター・画像診断センター
〒107-0052　東京都港区赤坂1-8-1 赤坂インターシティAIR 5階
TEL 03-3560-7777
平日 11:00～16:30（土・日・祝日は休み）
WEB 虎の門病院　人間ドック　検索
http://www.toranomon-dock.jp/
スマートフォンの方はコチラから

当院でセカンドオピニオンの提供を受けたい方へ

他の病院におかかりの患者さんで、ご自分の病状や治療方針について現在おかかりの医師以外の意見をお求めの方へ対し、当院各科専門医（部長・医長クラス）による特別相談をお受けしております。（完全予約制、紹介状必要）

（料金）30分：21,600円（延長15分毎：10,800円追加）
（担当）本院医療連携部　03-3588-1111 内線4106
分院医療連携部　044-877-5111 内線5141

×６１－００３０